

児童の行動目標

生活・学習場面で

「気づく・考える・行動する」

第一歩の「気づくため」に…

「よ〜くみる、よ〜くきく」

がんばっていますか？



令和6年5月13日 第4号 校長 志水 英子

本校の学校教育目標は、

「夢や目標に向かって行動し

ただしく かしこく すこやかに

のびていく 子供の育成」です。

さらに、本校児童に

「身に付けさせたい資質・能力」は、

1 よりよく関わりつながる力

2 目標に向かって自ら取り組む力

3 問いを持ち、

課題を粘り強く解決する力 です。

この3つの力を昨年度に引き続いて、昨年度より少しでも高いレベルで子供たちが身に付けることが出来るよう指導、支援していきます。その実現のためにも、学校、家庭、地域の教育力を発揮して目指す方向性を揃え、三者の力で共に子供たちを「正しく、賢く、健やか」に育てていきましょう。一年間、御理解・御協力を宜しくお願いします。



「15歳になり、中学校を卒業したら働くことができる。だからこそ、中学校卒業までに、社会に出て働くことのできる人に育てなければならない。」

これは、先日亡くなった小山内美江子さんが、ある雑誌インタビューの中で述べられていた言葉です。私の記憶が曖昧なのですが、確かこのような内容だったと憶えています。テレビ番組、3年B組金八先生の脚本家である小山内さん、ドラマの中で様々な社会問題を取り上げ、主演の武田鉄矢さんの言葉を通して、私たちにたくさんのメッセージを送られた方でした。小学校からの9年間は、社会で生きていくための基盤をつくる時期です。この言葉と出会ったとき、自分の責任の重さを痛感しました。

子供たちの成長には個人差があります。そこは十分に理解し、配慮を忘れず、子供たちの自立に向けた様々な指導をしっかりとやっていかなければならない。小山内さんの訃報に触れ、改めてそう感じました。

(保護者の皆様へお知らせです)

山本 優衣 先生が産休に入られました

先日、7日(月)の全校集会で、リモートではありましたが、お別れの式を行いました。

5月13日(月)より、橋本伊津子先生が、通級教室の担当として指導していきます。どうぞよろしくお願いします。

